

(第1号様式)

令和6年5月21日

神奈川県教育委員会教育長 殿

学校教育計画（令和6年度～令和9年度）

学校名	旭高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制 普通科
-----	-------	------------------	---------

1 学校のミッション

全日制の課程学年制普通科を設置する高校として、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえ、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるよう、学力の育成、豊かな人間性や社会性の涵養、社会的・職業的な自立等をめざした教育課程を適切に編成する。

「自主自律」の校訓の具現化に向け、変化の激しい時代を生き抜く柔軟性とたくましさを兼ね備え、社会に貢献し、社会の発展を担う人の育成をめざし、自ら考え表現する力、変化に対応できる力、自らを律して主体的に行動できる力、自他を尊重する精神等を育む教育に取り組む。

「主体的・対話的で深い学び」を実践する中で、基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度、問題発見・解決能力などの資質・能力を育成することで、変化に対応できる力を身に付け、学ぶ意欲を持ち続ける姿勢を培うよう、主体的・対話的で深い学びの実現をめざした不断の授業改善の実施等、教育活動の充実に取り組む。

2 学校教育目標

1 変化が激しい時代を生きぬける、柔軟性とたくましさを兼ね備えた人を育てる

- 自己肯定感を育み、仲間と協力しながら主体的に行動し、自律できる人を育てる
- 答えのない問いに対して意欲的に取り組み、自分の好きなことに深く探究できる人を育てる
- 自分で考える力を身につけさせ、社会に貢献し、社会の発展を担う人を育てる

2 生徒、保護者、地域に信頼される学校をつくる

- 職員一人ひとりの力を活かして、ミッションの実現に向けて組織的に取り組む
- 生徒、保護者とのコミュニケーションを深めるとともに、地域との協働を推進する

3 計画策定時点での課題

○生徒の授業の理解度、達成度を客観的に把握し、組織的な授業改善に取り組むこと、ICTの活用についてはタブレットの効果について検証しながら、より充実した学習コンテンツを提供できる方策を考案する必要がある。多様な進路選択に対応できるよう、カリキュラムマネジメントに継続して取り組みたい。

○基本的な生活習慣を確立して社会のルールを守ることや、いじりやからかいがいじめにつながることへの意識を高めるため、部活動をはじめ、生徒が活躍できる場をより多く設定し、学校生活における満足感や達成感を高めることで自己肯定感を高める必要がある。

○自分の将来の生き方への関心を深め、社会的・職業的自己実現を目指すために、高校3年間の早い時期から進路選択の幅を持たせ、一般受験に向けた準備やプレゼンテーション能力を高める支援を進める必要がある。

○学校ホームページを「見やすく、『学校の今』がわかる」ものにする取組を継続する。

○学校運営協議会から受けた有用な意見を学校運営に生かせる体制づくりが課題である。

○保護者及び地域の信頼を得るため、不祥事防止に向けて職員のコンプライアンスの順守や当事者意識を高めるとともに、過去の大災害を忘れず、安全で学習にふさわしい環境かを常に点検する必要がある。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<p>①カリキュラムマネジメントの視点から魅力ある教育課程を編成し、運用・改善する。</p> <p>②ICTを利活用しながら、授業改善に組織的に取り組み、基礎学力の定着を図り、思考・判断・表現する力を伸長することで、主体的に活動できる人材を育成する。</p>	<p>①育みたい生徒像や問題点などを十分に検討し、カリキュラムマネジメントの視点から、魅力ある教育課程の編成に取り組む。</p> <p>②タブレットの効果について検証しながら、より充実した学習コンテンツを提供できる方策を考案する。授業の中で生徒が自分の考えを表現できる機会を多く設定するとともに、授業を振り返り自己評価させる機会を設ける。</p>
2	生徒指導・支援	<p>①基本的な生活習慣の確立を図るとともに、社会の一員として行動するための規範意識を高める。</p> <p>②生徒1人ひとり個に応じた支援の充実を図る。</p> <p>③自己理解・他者理解を深め、自己を尊重できる人間関係を築き、コミュニケーション能力を育む。</p>	<p>①継続的な服装・遅刻指導に取り組む。</p> <p>②SC、SSWを有効に活用しながら、生徒が相談しやすい教育相談体制を整える。</p> <p>③生徒が自ら創意工夫して有意義な学校行事運営や部活動ができるよう支援する。</p>
3	進路指導・支援	<p>①10年後（AGE28）の自分をイメージしたキャリア形成ができるように、3年間を通したキャリア教育実践計画に基づき、キャリアデザイン能力を身につけさせる。</p>	<p>①計画的な進路指導や進路実現につながる探究的活動の指導体制を構築する。</p> <p>①キャリアデザイン能力の養成のため様々コミュニケーションツールを活用して進路を考える環境を整備する。</p>
4	地域等との協働	<p>①学校と地域の連携協働の「現状と課題」を把握し、改善を意識した学校運営協議会を運営する。</p> <p>②学校と地域の連携協働の促進により地域とともにある開かれた学校づくりを進め、地域の中で生徒の主体的な取組を支援する。</p>	<p>①学校運営協議会から受けた有用な意見を学校運営に生かせる体制づくりに努める。</p> <p>②地域と連携を深め、ボランティア活動のさらなる充実を図る。生徒のニーズを把握して地域との連携を強化する。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①ICTを利活用した様々な活動を支援するための教育環境を整備する。また、ICT利活用により業務の効率化を図り、働き方改革を実践する。</p> <p>②地域への情報発信を迅速に行い、社会に開かれた学校づくりを推進する。</p>	<p>①ICT利活用に向けたスキル向上や新たな学習コンテンツを活用するための研修会を実施する。</p> <p>②生徒主体の学校説明会の内容を充実させ、中学生や保護者によりわかりやすい説明を行う。各部署にホームページ担当を置き、内容を明確にする。</p>